

- 問1 世界全体の統計において、人口の割合が約7.9%であるのに対し、二酸化炭素の排出割合が約20.1%を占めている州があります。この州は、南北に長い大陸の形状をしています。該当する名称として正しいものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
1. アジア州 2. 北アメリカ州 3. 南アメリカ州 4. オセアニア州
- 問2 世界の農産物生産量において、大豆の32.5%、とうもろこしの35.2%という極めて高い世界シェアを占める一方、小麦のシェアは10.6%にとどまり、カカオ豆の生産がほとんど行われていない地域はどこですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
1. 北アメリカ州 2. 東南アジア 3. ヨーロッパ州 4. 南アメリカ州
- 問3 アメリカ合衆国の農業地域に関する記述のうち、各地の統計データや地理的特徴を説明したものとして、正しい組み合わせはどれですか。 (2017年 三重県公立入試 類似)
1. 温暖なミシシッピ川下流域の低湿地を中心とした、機械化による小麦栽培 2. 冷涼な五大湖周辺の気候を活かした、大規模なとうもろこし栽培 3. 乾燥した北部のグレートプレーンズを中心とした、広大な農地での綿花栽培 4. 中西部のイリノイ州付近を中心とした、肥沃な土壌を活かしたとうもろこし栽培
- 問4 アメリカ合衆国の農業において、西経100度の経線付近は大きな土地利用の転換点となっています。この経線付近が農業の境界となる理由について、自然環境の観点から説明したものとして最も適切なものを選んでください。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. この経線に沿って巨大な山脈が南北に走っており、東西で日照時間に極端な差が生まれるため 2. この経線より西側は北極からの寒気の影響を強く受け、年間を通じて気温が氷点下となるため 3. この経線を境に土壌の成分が大きく変わり、西側では作物の栽培が一切不可能になるため 4. この経線を境に年間降水量が約500mm前後となり、東側は湿潤な気候、西側は乾燥した気候に分かれるため
- 問5 アメリカ合衆国において、ヒスパニックの人口割合が高い州の分布状況とその背景について述べた文として、正しいものを選択してください。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 工業が発達した北東部の州で割合が高く、ヨーロッパからの移民が最初に定住した歴史が影響している。 2. 綿花栽培が盛んだった南東部の州で割合が高く、かつて奴隷として連れてこられた人々の末裔が多い。 3. 広大な農地が広がる中央部の州で割合が高く、大規模な小麦農業の労働力として移住した人々が多い。 4. メキシコとの国境に近い南西部の州で割合が高く、地理的な近接性が移民の多さに影響している。
- 問6 世界の農産物の流通において、アメリカ合衆国はとうもろこしの生産量で世界第1位を占めています。また、世界全体の輸出量における国別割合を示した統計においても、アメリカ合衆国は世界最大のシェアを誇っています。このようなアメリカ合衆国の農業の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. 生産されたとうもろこしの大部分は国内の家畜の飼料やバイオ燃料として消費されるため、輸出量が占める世界シェアは年々低下している。 2. 広大な土地で大型機械を利用した大規模な農業を行い、自国での消費だけでなく世界各地へ農産物を供給する商業的な農業を展開している。 3. アジア州やヨーロッパ州からの輸入農産物に対抗するため、政府が輸出を厳しく制限して国内市場の保護を最優先している。 4. 家族経営を中心とした小規模な農地で、単位面積あたりの収穫量を高める労働集約的な農業を行い、高品質な作物のみを輸出している。
- 問7 アメリカ合衆国では、広大な国土の中で気候や土壌などの自然条件に合わせ、それぞれの土地に最も適した農産物を集中的に生産する合理的な農業が行われています。中西部のイリノイ州周辺でとうもろこし、北部のグレートプレーンズで小麦、南部のミシシッピ川下流域で綿花の生産が盛んであるような、地域の環境に適した農作物を栽培する仕組みを何と呼びますか。 (2017年 三重県公立入試 類似)
1. 適地適作 2. 二毛作 3. 等高線耕作 4. 企業的穀物農業
- 問8 アメリカ合衆国の社会において、ヒスパニックの人口が増加している背景やその影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 19世紀にヨーロッパから移住してきた人々が中心となり、伝統的なキリスト教文化を広めている。 2. アメリカ合衆国の公用語が英語からスペイン語に変更される動きが、連邦議会で決定した。 3. スペイン語を話す労働者が増えたため、選挙や宣伝活動でスペイン語が使われる機会が増えている。 4. 主にアジア諸国からの移住者が多いため、西海岸の都市部において仏教徒が急増している。
- 問9 アメリカ合衆国のサンフランシスコ近郊で、情報技術産業（ICT）が世界をリードする規模にまで発展した主な背景として、最も適切な説明を次のの中から選びなさい。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 大学や研究機関と企業が連携し、新しい技術やサービスを生み出す仕組みが整っていたため。 2. メキシコ湾沿岸の広大な土地を活用し、安価な労働力による大規模な工場建設が進んだため。 3. 温暖な気候を求めて、北東部のスノーベルトから自動車産業の熟練工が大量に移住したため。 4. 五大湖周辺で産出される鉄鉱石や石炭を利用し、大型の計算機を製造するのに適していたため。
- 問10 日本の自動車産業などがアメリカ合衆国に多数の拠点を置き、現地生産を拡大させてきた背景と目的に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 兵庫県公立入試 類似)
1. 輸出の急増による日米間の貿易摩擦を解消し、現地での雇用を創出するため 2. 広大な農地を利用した原材料の確保を行い、農業分野での利益を最大化するため 3. 日本国内の資源が枯渇したため、鉱業などのエネルギー資源を現地で確保するため 4. アメリカ合衆国の安価な労働力を活用し、日本国内向けの製品を安く製造するため
- 問11 2016年の世界貿易の統計において、輸出額が約1.5兆ドルであるのに対し、輸入額が約2.2兆ドルに達しており、輸出額よりも輸入額が大幅に上回っていることが特徴である国はどこか、次の中から選びなさい。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 日本 2. アメリカ合衆国 3. ドイツ 4. 中国
- 問12 アメリカ、カナダ、フランスの3か国の輸出統計を比較した際、輸出総額が約1兆7500億ドルと突出して大きく、かつ「機械類」が輸出全体の22.8パーセントを占めている国の産業的特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
1. 内陸部の広大な小麦地帯を背景に、農産物の輸出額が工業製品の輸出額を大きく上回っている。 2. 政府による強力な保護政策により、ワインや乳製品などの伝統的な農産加工品の輸出に特化している。 3. 北極海沿岸の資源開発により、輸出の過半数を天然ガスと鉄鉱石が占めるようになっている。 4. 世界最大の消費市場であるとともに、航空機や電子機器などの先端技術を用いた工業製品の供給地となっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 南アメリカ州	南北に長い大陸の形状を持つ南アメリカ州は、世界の総人口に占める割合が約7.9%である一方で、二酸化炭素の排出割合が約20.1%に達しています。このように人口比に対して二酸化炭素の排出割合が高い数値を示す背景には、工業化の進展や資源開発、森林破壊などの環境変化が関わっています。入試では統計数値と大陸の形状を組み合わせて州を特定させる問題が頻出です。
問2	答え 1 北アメリカ州	大豆やとうもろこしの生産で世界的に高いシェアを持っているのは北アメリカ州（主にアメリカ合衆国）の特徴です。北アメリカ州では小麦の生産も盛んですが、大豆やとうもろこしほどの占有率ではありません。また、カカオ豆は低緯度の熱帯地域で栽培される作物であるため、温帯から冷帯が中心の北アメリカ州ではほとんど生産されません。
問3	答え 4 中西部のイリノイ州付近を中心とした、肥沃な土壌を活かしたとうもろこし栽培	アメリカの農業は地域ごとに専門化が進んでいます。中西部のイリノイ州やアイオワ州付近は「コーンベルト」と呼ばれ、とうもろこしや大豆の世界的生産地です。北部のグレートプレーンズは半乾燥地域であり、大規模な機械化による小麦栽培（小麦地帯）が行われています。南部のミシシッピ川下流域は温暖な気候を利用した綿花の生産が歴史的に盛んですが、小麦の主要産地ではありません。五大湖周辺は冷涼な気候を活かした酪農が中心となります。
問4	答え 4 この経線を境に年間降水量が約500mm前後となり、東側は湿潤な気候、西側は乾燥した気候に分かれるため	アメリカ合衆国の中央部を通る西経100度は、年間降水量500mmのラインとほぼ一致しています。これより東側では降水量を活かしたトウモロコシや大豆の栽培が盛んですが、西側の乾燥地域では小麦の栽培や、企業的な牧畜、さらには地下水を利用したセンターピボットなどの大規模な灌漑農業が行われています。
問5	答え 4 メキシコとの国境に近い南西部の州で割合が高く、地理的な近接性が移民の多さに影響している。	アメリカ合衆国の民族構成において、ヒスパニックはアフリカ系（黒人）を抜いて最大のマイノリティとなっています。特にメキシコと国境を接するカリフォルニア州、アリゾナ州、ニューメキシコ州、テキサス州といった南西部の地域は、スペイン語圏であるラテンアメリカ諸国からの物理的な距離が近いため、ヒスパニックの居住密度が非常に高くなっています。
問6	答え 2 広大な土地で大型機械を利用した大規模な農業を行い、自国での消費だけでなく世界各地へ農産物を供給する商業的な農業を展開している。	アメリカ合衆国は、広大な農地に大型の農業機械を導入する効率的な農業を行っています。特に「コーンベルト」と呼ばれる地域を中心に生産されとうもろこしは、世界最大の生産量を誇るだけでなく、世界市場における輸出量でも極めて重要な地位を占めており、世界の人々の食生活や産業を支える「世界の食糧庫」としての役割を果たしています。
問7	答え 1 適地適作	広大な国土を持つアメリカ合衆国では、降水量や気温などの自然環境が地域によって大きく異なります。そのため、各地の環境に最も適した農作物を栽培することで、高い生産性を実現しています。これを適地適作といい、とうもろこし地帯（コーンベルト）や小麦地帯などの農業地域区分が形成される要因となっています。単に大規模であるだけでなく、科学的・合理的な経営判断に基づいているのが特徴です。
問8	答え 3 スペイン語を話す労働者が増えたため、選挙や宣伝活動でスペイン語が使われる機会が増えている。	ヒスパニックの人口増加により、政治家が選挙活動でスペイン語を用いた演説を行ったり、企業がスペイン語の広告を制作したりするなど、社会のあり方が多様化しています。これは、ヒスパニックが労働力としてだけでなく、消費者や有権者としても無視できない大きな存在になっていることを示しています。
問9	答え 1 大学や研究機関と企業が連携し、新しい技術やサービスを生み出す仕組みが整っていたため。	シリコンバレーの発展には「産学連携」が不可欠でした。大学が輩出する高度な専門知識を持った人材と、リスクを恐れずに投資を行う企業が結びつくことで、革新的なIT企業が次々と誕生しました。これに対し、五大湖周辺は伝統的な重工業、メキシコ湾沿岸は石油化学産業や宇宙産業などが盛んな地域です。
問10	答え 1 輸出の急増による日米間の貿易摩擦を解消し、現地での雇用を創出するため	1980年代、日本からの自動車輸出が急増したことでアメリカ国内の産業が打撃を受け、深刻な貿易摩擦が起こりました。これを解決するため、日本企業は製品を輸出する形から、アメリカ現地に工場を建設して生産する「現地生産」へとシフトしました。これにより、貿易摩擦の緩和だけでなく、現地での雇用創出や地域経済への貢献も果たしており、現在も多くの日本人が現地で活動する背景となっています。
問11	答え 2 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は世界最大の消費市場であり、旺盛な国内需要を背景に、中国などの海外から多くの製品を輸入しています。そのため、主要先進国の中でも輸入額が輸出額を大きく上回る「貿易赤字」の状態が継続していることが、統計上の大きな特徴となっています。
問12	答え 4 世界最大の消費市場であるとともに、航空機や電子機器などの先端技術を用いた工業製品の供給地となっている。	輸出総額が1兆ドルを大きく超え、機械類が主要な輸出品目である国はアメリカです。アメリカは巨大な国内市場を持つだけでなく、多国籍企業による航空機、情報通信機器、自動車などの高度な工業製品を世界中に輸出しており、世界経済において極めて大きな役割を果たしています。